

# 令和5年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

## 1 開催日時

令和5年6月1日（木） 午後1時00分～午後2時20分

## 2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

## 3 出席者

（委員）

平野 勝与	大久保 富秋	桐島 一義	山崎 武志	宇田 雅英
高山 俊宏	宮口 泰彦	澤田 一正	横島 幸宏	中井 孝司
栢 英彦	河毛 茂利	木曾 孝彦	渡邊 一成	

（事務局）

日野 雄蔵	信岡 知典	岡田 啓伸	宮谷 航平
-------	-------	-------	-------

## 4 欠席委員

山口 晃弘 藤井 剛

## 5 議事

- 第1号議案 令和4年度活動報告
- 第2号議案 令和4年度決算報告
- 第3号議案 令和5年度活動計画（案）
- 第4号議案 令和5年度予算（案）
- 第5号議案 地域内フィーダー系統確保維持計画（令和6～8年度）（案）
- 第6号議案 令和5年度生活交通改善事業計画（案）

## 6 報告事項

府中市における市内路線バスの運行状況について  
府中市地域公共交通計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルについて

## 7 配布書類

- 資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図
- 資料2 令和5年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会－議案
- 資料3 令和5年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会－資料
- 資料4 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）
- 資料5 生活交通改善事業計画（案）
- 資料6 府中市における市内路線バスの運行状況について

## 8 傍聴者

7人

## 9 議事の内容

### ○開会

### ○配布資料の確認

### ○委員紹介

### ○議事

#### 【会長】

改めまして皆さんこんにちは。福山市立大学の渡邊でございます。

午後の早い時間にご参集いただきましてありがとうございます。

ご存知かと思いますが、今年の2月に、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律という、いわゆる地活法と言われているものが改正をされました。

一番注目されたのは、いわゆるローカル鉄道をどうするのかという話がありますけれども、それ以外にも、交通分野のDX・GXの推進だとか、あるいはタクシー等を公共交通として活用していくという、いわゆる連携といった話も盛り込まれているところでございます。

こうした国の動きに呼応しまして、府中市におきましても、平成31年3月に地域公共交通網形成計画を策定したところでございますが、5年計画ということで、今年度、地域公共交通計画を策定するという運びになっております。

本日は、年度初めの第1回の協議会ということで、昨年度の活動あるいは決算報告、そして今年度の活動・予算内容等についてご審議いただくことになっております。

どうぞよろしく願いいたします。

議事の方に入らせていただきます。次第をご覧ください。

2の議事の「第1号議案 令和4年度活動報告」。

そして、「第2号議案 令和4年度決算報告」となっております。

これらは関連する議案ですので、一括して事務局から説明をしていただき、その後、ご意見あるいはご質問を受けたいと思います。

それでは事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

○「第1号議案 令和4年度活動報告」及び「第2号議案 令和4年度決算報告」の説明。

#### 【会長】

はい。ありがとうございました。

それではただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問がございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

**【委員】**

福塩線による観光列車の実施ということですが、これは決算額には依存していないような気がしますが、間違いはないかなというのがまず1点。

参加費だけ計算したのですが、40人掛ける3900円だと15万6,000円。

これは収支的に採算のとれる事業になっているのかどうかということが気になりまして、継続的に事業として行うためには、いくら補助金が必要かということも、せっかくの事業ではありますが、どこまでいけば採算が合うのか、その後の部分も含めて計画等はあるのかというのが質問でございます。

**【事務局】**

まず1点目の質問でございます。

JRの利用促進事業ですが、これは本協議会の予算とは違うということで、言われている通りでございます。

この福塩線対策協議会という組織を福山市、府中市、世羅町、三次市とつくってございまして、その中で運営している予算でございます。

ワイン列車等は、広島県からの補助金をもらいながら、今の福塩線対策協議会という組織の中でやっております、これはまだ採算性に関して、自立するところまでいっておりません。

各市町の負担金等で賄っている状況でございますので、今後、その辺りが一定程度自立できるようなことができないかというところで、福塩線対策協議会の中でも、協議しながらやっているところでございます。

**【会長】**

ありがとうございました。

ということで、網形成計画の中に位置付けられているので掲載されていますが、支出は別ということでございます。

他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、他に特に意見がございませんようでしたら、挙手による採決を行いたいと思います。

「第1号議案 令和4年度活動報告」、「第2号議案 令和4年度決算報告」について、一括して採決を行いたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**【委員】**

(挙手多数)

**【会長】**

賛成多数により可決されました。ありがとうございました。

**【会長】**

それでは議題を先に進めさせていただきます。

次に「第3号議案 令和5年度活動計画（案）」、そして「第4号議案 令和5年度予算（案）」ということで、こちらも関連案件ですので一括して事務局から説明いただき、そのあと、ご意見、ご質問を賜りたいと思います。

それでは事務局の方から説明をお願いします。

**【事務局】**

○「第3号議案 令和5年度活動計画（案）」及び「第4号議案 令和5年度予算（案）」の説明。

**【会長】**

はい。ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

私の方から1点。

資料2の中で、事業計画として3番で公共交通の利便性向上と利用促進のために実施する取り組み、20ページ21ページに11項目記載されていますが、資料3の方は12項目あって、19番目のスライドの両括弧9と書いてある新型コロナウイルス感染症に関する取り組みというのが、資料3にはあるけど資料2には無いのですが、どちらが正しいのでしょうか、という確認でございます。

**【事務局】**

大変申し訳ございません。

議案書の方が正でございます。資料3の方が間違っております。

**【会長】**

ありがとうございます。ということで、資料3のですね、19ページの（9）新型コロナウイルス感染症に関する取り組みというのは、今年度はやらないということですので、消していただければと思います。また、後半がずれますので全11項目ということでございます。

他にはございますか。

**【委員】**

つまらないことですが、ちょっと思い浮かんだので、こういうことができないかという提案ができたらと思うのですが、技術的なものがあるかもしれませんが、バスと電車の乗り換えの時に、例えば駅にバス路線に行くのだったらこっちの方角だよというマップや、乗り継ぎまでの歩いていく距離など、Ma a S関係だと私は思ったのですが、バスは既にロケーションシステムがあるのであれば、何時に来るよとか、ちょっと遅れているよというのが出るようなものがあると、より便利になるのではないのでしょうか。

バス停の方に掲示板等があるのでしたら、逆に電車はこっちの方だよとかですねそういった案内があると良いのではないのでしょうか。

分かっていることを前提にしたものではなく、分からない人、初めて使う人、よく覚えられないと

いう人がいるのであれば、そういったものがあつた方が良くかなと思つたことがまず1点。

実は(6)乗り継ぎ割引の件で、JRからタクシーの乗り継ぎも割引券が発行できて、少し安くなるとかというのがあれば、地域の方々にも、便利になるのではないのでしょうか。

タクシー料金が6月26日から値上げになりますが、何らかの補助的なものがあればいいなと思つて、Ma a Sの関係で提案させていただきました。以上です。

#### 【事務局】

先ほど紹介させていただきましたが、今回、地域公共交通計画ということで、これから取り組んでいくこととなりますが、その中で、やはり分かりやすい案内システムとか、どうやったら人が公共交通に乗れるだろうとか、そういうこともしっかり考えていかないといけないと思つておまして、Ma a Sもその1つだと思つておしますので、そういう中で、しっかり計画策定の中で検討していきたいと思つておます。

今回の計画策定ですが、あらゆる移動モードを活用して、移動手段を確保していこうという趣旨になっておしますので、タクシーも検討する中に入ってくると思つます。

#### 【会長】

委員のご指摘の情報提供と運賃割引の話は、広く捉えてしまうと、議案書の21ページの(8)に書いてあるMa a Sに含まれますので、その意味では、いかにこれからDXを活用して、検索することにより、どのルートを選択すれば良いかが全部分かり、なおかつ料金割引になるという、こうした新しいシームレスな交通のあり方の検討が必要で、シームレスというのは乗り継ぎもそうですし、金銭的な面も含めて、今年度策定する計画の中に、こうした取り組みも入れていく必要があると思つますので、また計画立案の際に、色々ご意見をいただければと思つます。どうもありがとうございます。

#### 【委員】

議案書の21ページの(7)交通空白地域解消に向けた取り組みという項目ですが、令和2年度に実施した取り組みが本格実施に至らなかったということですが、令和3年度、4年度で、この原因について何か検証されたのか、それから、今年度実施しようとしている取組の中で、どのようなものを施策立案という形で実施していこうという何か思いがございましたら、お願いします。

#### 【事務局】

令和2年度に実証実験を行いました交通空白地の解消に向けた取り組みでございますが、これはMONETシステムといひまして、乗り合いタクシーの様なもので実証実験をさせてもらつておます。

なかなか上手くいかなかったという点に1つはコロナ禍ということで、ちょうど移動ができないタイミングになったということと、もう1つはスマートフォンを使うことで、割と利便性が発揮できるのですが、なかなか利用する方が、スマートフォンそのものを使えないというようなところで上手くいかなかった。

もう1つはですね、令和2年度に実験した所は、中須地区というところが、もともと公共交通がない地域でございまして、乗り方そのものの説明がちょっと十分にできなかったのかなというふうにお思つているところでございまして。

今年度どうするのかということですが、先ほどから説明させていただいている地域公共交通計画の中で、どのようにするべきなのかというところを、前回の反省を基に考えていきたいというところで、まだ具体的な計画まで無いのが現状でございます。

**【委員】**

コロナ禍という特殊要因はあると思いますが、先ほどスマホの利用が高齢者には難しいというのは、この中で、高齢化の進展とセットになってくると思いますので、そのあたりはどのような形でデジタルを活用されるのか検討していただければと思います。

**【会長】**

今年度策定しようとしている地域公共交通計画の中では、市内の様々な移動手段を総動員するということを国は掲げていますので、従来どちらかという公共交通の議論は、鉄道・バス・タクシーで、最近では協和元気センターがやられている自家用有償のようなものもありますので、おそらく色々なモードが出てくると思いますので、そういったものをどのように活用していくのかも、今年度の計画の中で議論できればと思っています。

また、高齢者の話については、府中市の方でもDXの推進というのは、手を挙げてやられていますので、例えばスマホでエントリーしてくれたら100円割引だとか、DXをうまく活用していただけるような場面をつくり、それに対するインセンティブを与えるようなことを少し考えていけばいいなと思っていますので、引き続きまた本協議会で議論させていただければと思います。

**【委員】**

20ページの(3)ノーマイカー運動の実施というところですが、現在市役所職員を対象にノーマイカーデーを実施されていますが、今脱炭素の取組が進んでいる中で、企業による排出ということもありますので、企業にアプローチしていただいて、そういったところで交通モードを検討していただき、複合的な取組をしていただいたほうが良いのではないかと考えています。

**【事務局】**

そういった取り組みを今後どんどん進めて参りたいと感じております。

**【会長】**

国土交通省と広島県が中心となって、福山都市圏の交通円滑化のプロジェクトでベスト運動というのをやっているのですが、その中でも企業に向けた取組を行っていますし、都市圏の中に府中市も入っていますので、今年度から福山市を中心にした取組を強めていきますので、その中でも検討を進めていければと思っています。

それでは、挙手により採決に入りたいと思います。

「第3号議案 令和5年度活動計画(案)」、「第4号議案 令和5年度予算(案)」について一括してお諮りしたいと思います。

ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**【委員】**

(挙手多数)

**【会長】**

賛成多数により可決されました。ありがとうございました。

それでは、第3号議案、第4号議案の(案)というものを取っていただいて、活動計画並びに予算ということにさせていただくということでございます。よろしく願いいたします。

**【会長】**

それでは続きまして、第5号議案に移りたいと思います。

第5号議案は、地域内フィーダー系統確保維持計画(令和6～8年度)(案)についてです。

まずは事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

○「第5号議案 地域内フィーダー系統確保維持計画(令和6～8年度)(案)」の説明。

**【会長】**

それではただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見ご質問ありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

**【委員】**

目標値の設定の根拠があれば教えていただきたいのですが、右回りが令和6年度で16,000人、令和8年度が17,000人ということで増えていくということだと思いますが、なぜこの数字を設定されたのか。

**【事務局】**

目標設定の根拠でございますが、コロナ前からこういう設定をしております、ぐるっとバスの運行を行って、順調に右肩上がりが増えていた状況でございます。

それが、コロナ禍に入りまして、大きく下がって微増していくというのが数年続きましたので、それを下方修正して、同じラインで計画を上げていくという設定の仕方しております。根拠とすれば、説明が不十分かもわかりませんが、そのように設定をさせていただいております。

**【会長】**

コロナ禍の中で1度減少したのですが、もしコロナが無ければおそらくこの位の数字は達成できただろう、そういったことを踏まえての目標設定だということですか。

**【委員】**

2点ございまして、1点目が表のところで現状値が令和3年となっておりますが令和4年の間違いですか

**【事務局】**

はい。令和4年が正しいです。

**【委員】**

もし分かれば教えていただきたいのですが、コロナ前の実績の中で、最大値、実績が一番多かったのは数値を教えていただけないでしょうか。

**【事務局】**

資料には添付しておりませんので、画面で共有をさせていただきます。

コロナ前、例えば平成30年10月から令和元年9月ですと、右回りでは15,957人でした。

コロナ禍の令和2年度、4月～3月ですと、いきなり11,000人に落ちているように、そのまま増加していれば、15,000人から16,000人という目標が達成できたのではないかと。平成30年度であれば、14,000人だったので、年々増加していたことが分かっていただけたと思います。

同様に左回りについても年々増加していた状況でありまして、平成31年度であれば9,200人だったのが、令和2年度になると一気に落ち込んで8,700人、令和3年度だと8,400人となっており、徐々に落ちていっているような状況ですので、やはりコロナ前の平成31年度が年々増加していましたので、最大値になっていたというような状況になっております。

**【委員】**

現状値と目標値の間に差があってどうかと思ったのですが、過去の数字から出ているものだという事で納得しました。

**【委員】**

ちょっと関連するかと思いますが、直接事務局が回答できないかもしれませんが、先ほどの関係で、高齢者が増えるっていう状況っていうのは、平成31年度から結構経っていますけれども、免許の返納の状況がどのくらい増えているのか気になるのが1つと、それから免許返納された関係で、例えばバスだけでなくタクシー関係なども、あの辺りで人数が増えているのかどうなのか、その実態が多少でも分かれば教えていただきたい。

**【委員】**

免許返納の関係ですが、具体的な数字は今無いのですが、新しい制度になってかなり増えている状況です。

それが年々増加している感じです。あと各市町村によって保持の関係というのは変わってくるとは思います。県全体、府中署管内でも年々増えていっている状況です。

**【事務局】**

現在の計画策定を進めているという状況です。データの方も警察から提供いただくようにしており、まだ現状把握までは行っておりませんが、市でも免許返納に対する支援制度というのを設けておりまして、総務課が担当課になりますが、年々増加してきているような状況であるところもありますので、実際の免許返納の数や支援制度というのが果たしてどのようになっているのか、計画の中で



色々と検討していきたいというふうに思っています。

### 【委員】

それではちょっとついでに、タクシーの事業所の1つとして、免許返納に関して一言。

できれば市からの補助をいただきたいという思いがあります。

と言いますのが、免許返納に関しては制度ができてから、10%の値引きをさせていただいています。

この値引きに関して、運賃料金を10%引かせていただいている訳なのですが、それに対する補助は一切ありません。

ですから、会社が割引を受け入れざるをえないような状況で、これは運輸局の方向性というところもあって、基本的には受け入れた形です。

ですけど、それに対する補助金等々に関しては一切ありません。

タクシー会社が被らなきゃいけないという状況で、確かに増えておりまして、増えている分に関しては利用者の方が増えるという観点から言えば決して悪い話じゃないのですが、割引額も当然増えます。

労務上の話をしますと、こういった割引、実は障害者割引に関しても全く同じ状況です。

基本的にはタクシー事業者が割引した金額は被れという話になっておりまして、これは運輸局の方が、制度を最初に作ったときからそうしなきゃいけないということと言われたようなものがありまして、経緯に関しては、話せば長いこともありますが、タクシー運賃料金を我々は歩合率で賃金を決めていますけれども、割引前の歩合率で賃金は出せと。

会社が当然90%のものしか収入が取れない、こうするのが当たり前でそうしないと乗務員がかわいそうだという言葉に変えられて、現実には、新しく変わりました免許返納制度に関しましても同様に会社被る形で10%の割引をしながら事業をやっているような実態があります。

こういったものをちょっとご理解いただいた上で、コロナで非常に状況も悪くなったものですから、今回も15%、14.数%上がりますが、ちょっとお許しいただいて、燃料費上がっている、人件費も上がる、厚生費も全て上がっている状況の中で、この部分に関してはちょっと長年積み重なったものがありまして、何らかの形で、タクシー会社のほうにも、補助に限らず手助けしていただきたいということも合わせて、割引はいいのですが誰がそれを負担するのか、今事業者が完全に負担させられている状況で、非常に厳しい状況にありますので、それに対する支援が欲しいなということを申し上げさせていただきました。

### 【会長】

補助金でカバーするというやり方もある一方で、例えばお客さんを商業施設へ運んだ場合には、いわゆる商業施設が受益者になるわけですから、そこからお金出してもらおうとか、少し新しいことを考えていかないと税金で全てを賄うというのは、やはり難しいのではないかなと思うので、ぜひとも今年つくる計画の中で、そういった可能性について、少し皆で議論して、場合によってはその商業施設の方々にお話を聞かせていただいて、少しここについて何かいい方法が見えればいいなというふうに思っておりますので、その辺は引き続き議論させていただければと思います。

他にはございますか。よろしいでしょうか。

それではないようですので、挙手によりですね、採決を行いたいと思います。

「第5号議案 地域内フィーダー系統確保維持計画（令和6～8年度）（案）」につきまして、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**【委員】**

（挙手多数）

**【会長】**

賛成多数により可決されました。ありがとうございました。

それでは第5号議案の最後の（案）というのを取っていただいて、計画ということにさせていただきます。ありがとうございます。

**【会長】**

それでは続きまして、第6号議案に移りたいと思います。

第6号議案では今年度の生活交通改善事業計画案でございます。

事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

○「第6号議案 令和5年度生活交通改善事業計画（案）」の説明。

**【会長】**

ただいまの事務局の説明に対しまして、質問等ありましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

先ほども高齢者の話がありました。高齢化社会にあって、ユニバーサルデザインのタクシーを導入していただくのは非常に素晴らしいことだと思いますので、事業環境厳しい中だと思いますが、対応していただけることに感謝申し上げたいと思います。

それでは、続けて挙手により、採決をさせていただきます。

「第6号議案 令和5年度生活交通改善事業計画（案）」について、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**【委員】**

（挙手多数）

**【会長】**

賛成多数により可決されました。ありがとうございました。

それでは第6号議案の案を取っていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

以上をもちまして、本日用意しております議事は全て終了ということでございます。

円滑な議事運営また忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。

進行を事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくをお願いします。

**【事務局】**

続いて、開催次第「3 報告事項」に移ります。  
事務局より、ご報告させていただきます。

**【事務局】**

○報告事項「府中市における市内路線バスの運行状況について」、「府中市地域公共交通計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルについて」の説明。

**【事務局】**

それでは報告事項1「府中市における市内路線バスの運行状況について」、報告事項2としまして「府中市地域公共交通計画策定支援業務に係る公募型プロポーザルについて」、こちらにつきまして、委員の皆様から何かご質問等はございますか。

**【委員】**

表現の仕方を教えていただければと思いますが、資料6の路線データの枠外の※の2つ目で、「収益率は100%で収支均衡、101%以上が黒字、99%以下が赤字となる。」とありますが、収益率のところが小数点2桁までありますが、例えば100.5%の場合はどちらなのでしょう。

**【事務局】**

黒字になります。

**【委員】**

ということは、表現的には100%を超える場合が黒字で、100%未満が赤字だということですね。

**【事務局】**

その通りです。  
そのほかよろしいでしょうか。  
また全体を通して、委員の皆様から何か、ご意見等はございませんでしょうか。

**【委員】**

PASPYが廃止されていくという話があるかと思いますが、バス等への影響というのは今年度位から考えていかないといけない問題なのか、まだ先でいいのかわかりませんか。

**【委員】**

おっしゃる通りPASPYが2024年3月で終了になるということで、広島県の中で、広電の新しいシステムやICカードなど検討している状況です。弊社において、やはり今後に向けて、代わりになるものを検討している状況でして、ICOCAのようなものになるかもしれませんが、正式に契約したわけでもございませんし、できる限りPASPYが終わるタイミングで移行したいと思っております。

**【委員】**

ちょうど資料にPASPYの広告があったものですから、今10%の割引があると思いますが、それが無くなると、私もPASPY利用者なので聞いていまして、状況は理解できました。ありがとうございます。

**【委員】**

MONETの話ですが、コロナ禍に実施して、現在取りやめになっているデマンドシステムですが、システム会社がMONETの他にもあり、最近では井原市が採用しています。パソコン交通のシステムがかなり優秀だと聞いていまして、MONETの場合には前日までの予約しか対応できないシステムになっているのですが、先般井原市のシステムを請け負っている日の丸タクシーの方に福山市の職員と一緒に見学も兼ねて行って来たのですが、優秀なシステムのようなので1社に限らず、スマホを使ってという前提はあるのですが、電話対応でも当日の1時間前まで対応可能でした。

もしかすると日の丸タクシーのオペレーターが優秀だからかもしれませんが、そういったシステムの組み方ができるようなテクノロジーは進歩していますので、1社に限らずやられたほうがいいのかではないでしょうか。

現行のMONETに関しては不満な部分もありますので、当時の予算と比べれば違うものが生まれてくる可能性もありますし、その前例として井原市の例というのも研究するのに相応しいものかと思えます。

**【事務局】**

ありがとうございました。  
その他、よろしいでしょうか。

**【委員】**

生活交通改善事業計画の中で、UDタクシーの導入を進めていまいしょうというお話があり、当然の方向性だと思います。

しかし、利用者の方から中にはUDタクシーは座面が高くて乗りにくい、という声も実際にはあります。

昔の車両のコンフォートのほうが、足が上がりやすく乗りやすいという声もあり、一概にUDタクシーが良いということでもないのかなというふうに思います。その辺りは、利用者の声を聞く必要があるのかなと思います。

それからUDタクシーを導入したとしても、使う側がそれなりに使えないと、UDタクシーの機能を発揮できません。

ですから事業者がドライバーを育成するための費用とか、そういったあたりを盛り込むとか、障害者の方にとのように対応していくのかということを含めた上でのハードとソフトで、両立をしておかないとハードだけどんどん導入してもいけないのではないかなと考えております。

その辺りも今後話ができる機会があれば、ハード面だけでなくソフト面も、利用者の方の声を聞くということも必要だと思います。

**【事務局】**

ありがとうございました。それではよろしいでしょうか。

**【委員】**

今後、免許返納者や高齢者の方に向けた利用促進策をやっていかないといけないと考えております。

それは乗り方教室などで、今私どもが取り組んでいるのがバスの利用方法の映像を作っております。それも活用していきたいと考えております。

先日、福山市でバラ祭りがあったのですが、利用された多くの方がバスの利用方法が分からなかった方がほとんどでした。支払う際に両替のところに全てお金を入れるだとか、乗務員に手渡しでお金を渡すなど、ヘビーユーザーの方がいらっしゃる一方で、ほとんどの方が使ったことがないというのが見受けられますので、自治会等に出向いて、私どももバスを持って行って皆様と活動をしていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

また今後情報の展開に関しまして、G o o g l eのG T F S化を進めております。それを活用した取組も進めていきたいと思っています。

**【事務局】**

ありがとうございます。

それでは、他には無いようですので、以上をもちまして、令和5年度第1回府中市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

本日はありがとうございました。

○閉会

以上